

第 1 回東大和市総合計画審議会 会議録

令和元年 9 月 2 8 日

東 大 和 市

第1回東大和市総合計画審議会会議録

- 1 **開催日時** 令和元年9月28日（土） 午前10時～正午
- 2 **開催場所** 中央公民館 視聴覚室
- 3 **出席委員** 菅野仁一委員、貴島信彦委員、栗原尚孝委員、小嶋哲夫委員、白相奈津子委員、田村茂委員、牧瀬稔委員、森林育代委員、安齋幸一委員、石川和男委員、尾崎恵理委員、梶並純一郎委員、佐竹芳浩委員、長谷川仁美委員、比留間めぐみ委員
- 4 **欠席委員** なし
- 5 **傍聴人** 1人
- 6 **理事者** 尾崎保夫市長
- 7 **事務局** 田代雄己企画財政部長、藤本貴史企画財政部副参事、大野祐司企画担当係長
- 8 **公開・非公開の別** 公開
- 9 **次第**

- (1) 開会
- (2) 会議の公開
- (3) 市長挨拶
- (4) 委嘱状の交付
- (5) 会長・副会長の選出
- (6) 諮問
- (7) 議題
 - ア 東大和市総合計画について（説明）
 - イ （仮称）東大和市新総合計画策定方針について（説明）
 - ウ （仮称）東大和市新総合計画策定に当たっての留意点について（説明）
 - エ （仮称）東大和市新総合計画策定の流れについて（説明）
 - オ （仮称）東大和市新総合計画策定のスケジュールについて（説明）
- (8) 意見交換
- (9) その他
- (10) 閉会

<配布資料>

- 資料1 東大和市総合計画審議会委員名簿
- 資料2 東大和市総合計画審議会条例
- 資料3 附属機関の会議の公開に関する法令資料
- 資料4 東大和市附属機関等の会議の公開に関する規則
- 資料5 東大和市総合計画<冊子>
- 資料6 （仮称）東大和市新総合計画策定方針
- 資料7 （仮称）東大和市新総合計画策定に当たっての留意点
- 資料8 （仮称）東大和市新総合計画策定の流れ
- 資料9 （仮称）東大和市新総合計画策定のスケジュール
- 資料10 東大和市総合計画審議会の開催スケジュール（平成31年度）

10 議事内容

(1) 開会

○田代企画財政部長

皆さんお揃いのおようですので、改めましておはようございます。私は、東大和市の企画財政部長の田代と申します。事務局を務めさせていただいています、どうぞよろしくお願いたします。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、ただ今から、第1回東大和市総合計画審議会を開会させていただきます。本日は、次第に沿って進めさせていただきたいと思っています。

資料に関しては、事前にお送りしていますが、そちらをお持ちいただいていますでしょうか。なければ言っていたきたいと思います。そして、本日机上にも資料を配布させていただいております。そちらも併せて説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議につきましては、第1回目ということで会長を決定して、次第の7番目の議題に入るまでは、私、事務局の田代が会議の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

また、本日の会議ですが、第1回目ということで事務局からの説明が中心となります。ご質問等ありましたら、遠慮なくご発言いただければと思っております。また、事務局からの一方的なご説明だけで終了するのともということで、意見交換の時間も予定させていただいておりますので、そちらの方も積極的なご発言をいただければと思っております。

最初にこの審議会について、私の方から説明させていただきます。

(「資料2 東大和市総合計画審議会条例」に基づき説明)

次に本日の出席状況をご報告申し上げます。本日は、委員の皆様15人中、15人の皆様にご出席いただいておりますので、この会議は成立する内容となっております。

(2) 会議の公開

○田代企画財政部長

続きまして、次第の「2 会議の公開」について説明をさせていただきます。

(「資料3 附属機関の会議の公開に関する法令資料」、「資料4 東大和市附属機関等の会議の公開に関する規則」、当日配布の「東大和市総合計画審議会会議の運営及び公開に関する事務取扱要領」に基づき説明)

本日の傍聴希望者は、現時点で一人いらっしゃいます。これから希望者の方に入っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(傍聴希望者1人が入室)

(3) 市長挨拶

○田代企画財政部長

それでは、次第の3について、市長からご挨拶を申し上げます。尾崎市長よろしくお願いたします。

○尾崎市長

皆さん、おはようございます。市長の尾崎でございます。本日は、お忙しい中、第1回東大和市総合計画審議会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、委員の皆様におかれましては、ご多用の中、委員への就任を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、現行の総合計画であります、第二次基本構想及び第四次基本計画は、令和3年度をもちまして計画期間が満了となりますことから、市では、現在、令和4年度を初年度とする（仮称）東大和市新総合計画の策定を進めているところであります。

総合計画は、20年後に目指す将来都市像を掲げ、まちづくりの基本方針となる基本構想と、基本構想で示された目標等を実現するため、10年間で取り組む施策を定めた基本計画で構成されており、市の最上位計画として位置付けられるものであります。

この審議会は、新たに策定をいたします第三次基本構想（案）及び第五次基本計画（案）について、ご審議をいただき、答申をいただく重要な審議会であります。各分野でご活躍中の委員の皆様におかれましては、東大和市の将来のために、様々な角度からご意見を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

（4）委嘱状の交付

○田代企画財政部長

尾崎市長、ありがとうございました。続きまして、次第の「4 委嘱状の交付」でありますけれども、最初に私の方から、委員の皆様の選出経過についてご説明させていただきたいと思っております。資料1の「東大和市総合計画審議会委員名簿」をご覧ください。

この審議会につきましては、学識経験者8人と公募の市民の皆様7人の合計15人で構成されております。学識経験者の皆様につきましては、市の施策の全般についてご意見をいただきたいという視点で、教育、スポーツ、福祉・子育て、商工、環境、男女共同参画の各分野で学識を有している方をお願いするとともに、全市的な視点という立場からご意見をいただくために、地方行政全般に見識のある大学の先生、そして報道機関の方にもお願いをしているところでございます。

公募の市民の皆様は、子育て中の方2人、40歳以上の方3人、40歳未満の方2人という年齢区分を設定させていただきまして、市報やホームページを通じて募集をし、選考させていただいた上で、7人の方をお願いをしたものであります。そのような経過を経て、皆様をお願いをしている状況でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、尾崎市長から委嘱状を交付させていただきます。資料1の名簿順にお名前をお呼びします。市長が近くにお伺いしますので、呼ばれましたらご起立いただければと思います。

（市長から各委員へ委嘱状を交付）

ありがとうございました。皆様どうぞよろしく願いいたします。それでは次第にはございませんが、ここで皆様から自己紹介をいただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。突然ですけれども、すみません。資料1の名簿順ということで、大変恐縮ですが、一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

（各委員と事務局の自己紹介）

(5) 会長・副会長の選出

○田代企画財政部長

続きまして次第の5番、会議の「会長・副会長の選出」であります。先ほど申し上げました東大和市総合計画審議会条例第6条第1項の規定によりまして、会長と副会長につきましては、委員の互選によって定めることとされています。

まず会長の選出について、お諮りしたいと思います。会長ということで自薦又は他薦というかたちでお願いしたいと思いますが、どなたか立候補あるいはこの方がいいということ。

○委員

推薦させていただきたいのですが、牧瀬委員が適任ではないかと、私は思います。牧瀬委員を推薦したいと思いますので、よろしくお願いたします。

○田代企画財政部長

ありがとうございます。ただ今、牧瀬委員を推薦ということで、ご発言がありましたけれども、牧瀬委員にお願いをするということで、よろしいでしょうか。

(各委員から賛同の拍手)

ありがとうございます。それでは会長は全会一致ということで、牧瀬委員にお願いをしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

次に副会長となります。副会長につきましても、委員の互選となっておりまして、自薦又は他薦ということをお願いしたいと思います。どなたか立候補あるいは推薦ありますでしょうか。

○委員

もしよろしければ、立候補いたします。

○田代企画財政部長

ありがとうございます。菅野委員から副会長ということで、立候補をいただきました。菅野委員が副会長ということで、よろしいでしょうか。

(各委員から賛同の拍手)

ありがとうございます。それでは全会一致ということで、会長・副会長をお二人に就任していただきます。牧瀬会長と菅野副会長につきましては、席の移動ということで、前の方をお願いしたいと思います。

(牧瀬会長と菅野副会長が座席を移動)

(6) 諮問

○田代企画財政部長

続きまして、次第の6番の「諮問」になります。尾崎市長より牧瀬会長へ、諮問書を交付させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。それでは尾崎市長、よろしくお願い致します。

○尾崎市長

諮問書、東大和市総合計画審議会会長、牧瀬稔様。(仮称)東大和市新総合計画について、諮問。(仮称)東大和市新総合計画を策定するにあたり、下記事項についての貴審議会の意見

を求めます。諮問事項1、東大和市第三次基本構想案について。2、東大和市第五次基本計画案について。以上でございます。よろしくお願いいたします。

(尾崎市長から牧瀬会長へ諮問書を交付)

○田代企画財政部長

尾崎市長、牧瀬会長、ありがとうございました。ここで尾崎市長は、他に予定がありますので退席をさせていただきたいと思っております。

○尾崎市長

よろしくお願いいたします。

○田代企画財政部長

ありがとうございました。なお、これからの進行につきましては、牧瀬会長にお願いをしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(7) 議題

ア 東大和市総合計画について

○会長

あらためまして私の方から、これから進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは早速、中身に入っていきたいと思っております。次第の「7 議題」に入っていきたいと思っております。まず「(1) 東大和市総合計画」について、事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。

(現行の東大和市第二次基本構想、第四次基本計画に基づき事務局が説明)

○会長

私の方で補足ですけれども、この審議会で何をするかということですので、確認をします。

今、私が市長の方から第三次基本構想の諮問書というのをいただきました。第三次基本構想を考えてくださいと。これを貰いました。これを貰った後でこれから皆さんと私も含めて議論をしていきます。

議論をしていってどうなるかということ、現計画書の136ページ。こういうものを最終的に市長に出します。こういうことになりましたよと。皆さん自由に意見交換をしていただきまして、これを考えていくということですね。安全・安心をもっと入れたらいいのではないかと、防犯もっとやってくださいとか、学力向上とか。どんどん説明を受けながら、意見をいただきまして、それを私の方でまとめると。それを市長さんに渡して終了という、そういう状況になります。

これから皆さんが思うことを、20年後のまちづくりに思うことを、どんどん意見をいただきまして、それを事務局とこちらのコンサル会社の方にまとめていただくと。なので、深く考えて本当に皆さん欲しいものを、どんどん言っていただきたいと思います。

また、ここが結構重要ですが、たくさん意見をいただいて、こういう意見としてまとめて提出します。その後、いくつか手続きがありまして、さっき藤本さんがおっしゃいましたけれども、これは議会に出すわけですね。そこも考えながら議論をする必要があります。

皆さんは今後20年間ですね、こういうまちになっていきたい、どうすればいいかっていうことを議論いただいて、これを事務局の方でまとめていただくと。そんな状況になります。

何となく分かりますかね、やるべきことっていうのは。何となく分かりましたかね。それをお願いしたいなと思います。

今、藤本さんの方から、いろいろ中身の説明がありました。これはあくまでも過去の説明になります。第二次基本構想ですから、これを全く踏襲しなくていいと私は思っています。皆さんから自由に意見をいただいて、このまち全体の目標ですよ。何ページ目かにもありましたよね。第二次基本構想は5ページ目ですよ。そちらに、「人と自然が調和した生活文化都市」とありますけれども、これはつまり過去の目標ですよ。だから、それも踏まえながらいろんな意見をいただきたいなと思います。まちづくりの基本姿勢、まちづくりの目標、まちづくりの基本施策とありますけれども、その中身を変えてもいいと思っています。

これは過去の20年間ですから、これから20年間でどういうことに対して、東大和市は力を入れていくのかと。それを変えることによって中身も変わってくると思いますので、皆さんなりに、皆さん趣味なんか多いと思いますので、皆さんの観点から、優先順位を付けていただいて、新たに立てるのもいいかなという気がします。

構成自体は前回のままでいいかなと思うんですけど、中身は変えていいかなと思いますけど。それを踏まえまして、何かご意見とか、もしご質問があればいただきたいと思いたすけれども、どうでしょうか。

これから20年後ですからね。私、20年後は、ちょうどリタイアなんです。定年になります。リタイアしたら、今住んでいる場所から引っ越したいと思っていますが、その時に住めるような東大和市になっていれば、引っ越してこようかなと思っているんですけども。

でも20年後ですからね。皆さん20年前って覚えてますか。20年前ってどんな年だったか。1999年か、2000年ぐらいですね。さっきちょっとネットで調べたら、1999年は何があったかという、「iモード」が始まった年ですね。「iモード」って覚えてますか。ドコモの。あれが1999年にできたらいいですよ。

でももう終わっちゃっていますよね。あと1999年はゼロ金利が初めて始まった年ですね。今でいったら低金利時代に入った、そんな時代であったりと。

2000年は何が起きたかという、ITバブルが崩壊する寸前ですね。この後、崩壊しちゃった。ITバブルが崩壊しちゃうと。こういう年です。あとはもう皆さん多分、使っていませんよね。二千円札ができた年ですね。もうほとんど見ませんけど。それが20年前ですね。

イ （仮称）東大和市新総合計画策定方針について

○会長

どうでしょう、もし、忌憚なくご質問とかご意見があれば、いただきたいと思います。大丈夫ですか。なければ、いったん後でも構いませんので、これで一回、終わりまして、今度は「(2) 東大和市新総合計画策定方針」について、事務局の方から説明をよろしく願いいたします。

（「資料6 （仮称）東大和市新総合計画策定方針に基づき事務局が説明）

○会長

こちらについて質問、あるいはご意見ございますか。それと補足になりますけれども資料6の2ページ目の(1)に2060年の東大和市の将来人口が書いてあります。今回、この基本構想は20年間ですので、2040年は何人かっていう話ですね。この2040年は、8万3,831人です。

これが目標人口になっています。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、2040年は8万3,831人です。

ちなみにですけれどね、このまま東大和市が順調にいくと2040年は、8万270人です。これが推定人口。国が想定している東大和市の2040年の推定人口は8万270人。

要は3,000人上乘せしないと達成できないと。これって結構、実は大変なんですよ。3,000人簡単だとか実はそうではありませんで、これがなかなか厳しいと。そういう状況で、東大和市の目標人口は8万3,831人。このままいくと8万270人。3,500人ぐらい増えないとちょっと達成できませんよっていうことは、押さえておいていただければなと思います。

どうでしょう。特になければ進んでいただいて、最後にまとめて意見交換していきたいと思えます。

ウ (仮称) 東大和市新総合計画策定に当たっての留意点について

エ (仮称) 東大和市新総合計画策定の流れについて

オ (仮称) 東大和市新総合計画策定のスケジュールについて

(「資料7 (仮称) 東大和市新総合計画策定に当たっての留意点」、「資料8 (仮称) 東大和市新総合計画策定の流れ」、「資料9 (仮称) 東大和市新総合計画策定のスケジュール」、「資料10 東大和市総合計画審議会の開催スケジュール(平成31年度)」に基づき、事務局が説明)

(8) 意見交換

○会長

ありがとうございました。では残りの時間でここからは、意見交換をしていきたいと思えます。(1)から(5)まで説明がありましたけれども、この中でご質問とかご意見があれば、どうぞ。

○委員

いいですか。ワークショップって何をやるんですか。どんなことを、具体的には。

○藤本副参事

ワークショップについてご説明いたします。ワークショップは、先ほどの資料の中でご説明している通り、今年度に3回、来年度に2回ということで5回の開催を予定しております。

先ず前半の3回。今年度行います3回については、市民の皆さんにお集まりいただいて、市民の皆さまが描いている理想的な将来の姿。こちらについて検討していただいて、ある程度の結論を出していただくという形になっています。

後半の2回の方、来年度中ですが、こちらにつきましては現在、いろんな市の施策があって、施策の中に事業があるんですけれども、市の事業の中でも何を優先的に取り組んでいったらいいのかというところが、一つの課題になっています。

そういったものを来年度、全部の事業はできないと思うんですけれども、市民の皆さんに、例えば福祉だったら福祉っていうのを選んでいただきましたら、その中にこういったものを重点的にやっていったらいいのか、というところを検討していただいて、一定の結論を出していただきたいと。そういったことを話し合ってください内容になります。以上です。

○委員

今日は、基本構想の話がメインになるんじゃないかなと思うんですけど。資料6ですか、策定の基本的な考え方っていうところに、「地域の特性を生かした」というふう書いてあっ

て、そうでしょうけれども。

それを踏まえると、前回の総合計画の4ページ目とか、5ページ目のところを見ると、特に基本姿勢のところ「生活向上」、「自治確立」、「文化創造」っていうふうにあって、いずれにしても人が上手く生きていこうよみたいなことが書いてあるんだと思うんですけど、ベースとしてそれを、人が生きていくための環境っていうのをちゃんと維持するなり、環境といっても、自然環境だけじゃなくて、エネルギーとか廃棄物とかいろんな問題があって、そういう環境っていうのをきちんと守っていかないと。ベースとしてそういうものが基本姿勢に入っていたほうが、いいんじゃないかなというふうに思うのが一つです。

それともう一つは、次の5ページのまちづくりの目標のところ、「将来都市像」ということなんですけど、「人と自然が調和した生活文化都市」っていうのは多分、今度は変わるかと思うんですけど、すごく違和感があるんですね。生活文化都市って何だろうっていうのが、ちょっとよく分からなくて。

生活文化都市じゃない都市ってないんじゃないかなっていうのを、すごく違和感があったので、この辺もう少し実態に即した、あるいはちゃんと目標になるようなものが入っているような文言にした方がいいんじゃないかなというようなことで。以上です。

○委員

大体、都市像が、どんな都市像があるのかなんていう話を聞いたかったので。そこで事務局でほぼ決まった、どんなイメージがあるのか。ちょっとそこを聞いたかったわけ。

○会長

事務局に案があれば。案というか。どうぞ。

○藤本副参事

現時点におきましては、具体的な案というのは持っておりません。これから今日いただいた意見等も踏まえて、今後、検討していきたいと思っておりますので、申し訳ありませんが、現時点で具体的な案というのは持ち合わせていないところです。以上です。

○会長

次回までで構いませんので、近隣市のまちづくりの目標はどんなふうになっているのか、何か一覧があるといいかなっていう気はしますね。そんなに地域性は変わらないと思うんですけども。見ていきたいなと思います。他にどうでしょうか。

では私から質問なんですけれども、資料9で、東大和市総合計画審議会の黒丸がありまして、来年度以降は3回のみっていうことですか。今年は一応4回、黒丸が付いているので4回あるんだらうなっていう感じで、来年度が3つしか黒丸がないので、3つで終了なのかっていう。その辺についてお聞かせ願えればなと思います。

○藤本副参事

大変、申し訳ございません。来年度はこれよりも開催いたします。市民の皆さんには募集の時にお知らせしていると思うんですけども、基本的に今回から始めて13回ですかね。総合計画審議会、全ての回において予定しておりますので、来年度も5、6回程度開催をさせていただきたいと。具体的な日程が決まっていないものですから、申し訳ありません。黒丸で表示していないというところでもあります。以上であります。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。どうぞ遠慮なく、ご意見でもご質問でも構

いません。せっかくの機会ですのでいただければと思います。お願いします。

○委員

基本構想や基本計画は、令和3年までですから終了はしてないんですが、途中経過の中での総括みたいなものっていうのは、されていると思うんです。途中経過の中で。そういったものはいつお示しいただけるのかなと思うんですね。

○藤本副参事

それでは、私の方からご説明差し上げます。お手元の総合計画の中で、例えば33ページをお開きいただきたいんですけど、例えばこれは学校教育の関係の第四次基本計画の内容が書いてあるところなんですけれど、主な成果、活動指標というのが、第四次基本計画をつくる時に数値目標として掲げられていると。

こういった数字については、毎年度、調査をしております、数値として把握しておりますので、先ずその数値というのをまとめて、次回以降の審議会の中でお示ししたい。その中でこの数値目標だけではなくて、各課の方から、事業主管課の方から事業の取組について調査をいたしまして、現在どんな状況なのかということも調査しております。その辺もこちらの数値目標の進捗具合と合わせて、次回以降の審議会の中で資料としてお示ししたいというふうに考えております。以上です。

○委員

具体的なことがいろいろ出て来ているんですけど。私、基本構想そのものが、第二次の基本構想が計画をされた時と、今現在、基本的なことの評価っていうことが、どっかできちっとできないのかなというふうに思っております。

例えば、調和した産業を進めていくと言っているけれど、何か新しい産業ができたのかとか。本当に何かつくるべきであるのかとか。そういうことを、何か評価すべきたたき台とか、そういうものがないと次の基本構想ができないんじゃないかなと。

すぐに住むのに、非常にいいまちづくりだよっていうことだけが出てきたら、産業はどこか行っちゃったのか、そんな話になってないのかなという、構想の現状認識を一回しなければいけないんじゃないのかなというふうに感じております。ちょっと意見ですけど、すみません。

○会長

次回、可能であれば、それに答えながらやっていきたいと思えます。どうでしょうか。どうぞ。

○委員

質問と意見なんですけれども。まず質問ですが、まち・ひと・しごとの方の会議が並行しているかと思うんですけれども、そちらの方の意見とか、計画は反映されるのかということと。

あと意見なんですけれども、SDGs と Society5.0 は、必ず盛り込んでいかなければいけないのかなというところと。あと人権の方で、男女共同参画があるんですけども、もう男女だけではなくて、性的指向と性自認のほうの多様な制度も盛り込んでいかなければならないのかなというふうに考えています。以上です。

○田代企画財政部長

すみません。1点目の、まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係です。おっしゃるとおり、

総合戦略を定めまして、そこでいろいろ事業の評価をしているところでございますけれども、関係としましては、まち・ひと・しごと創生総合戦略よりも、基本構想、基本計画は上位計画になっております。

基本計画は10年の期間。まち・ひと・しごと創生総合戦略という人口減少の抑制を図る計画が別にあるんですけれども、それは5年の計画です。その中でも基本構想が上位ですよ、その下に総合戦略とかがありますよという、そういう縦系列の関係になっております。

ですので、基本構想が変わってくれば、総合戦略も変わってくると思っています。ですので、皆さんのご意見も踏まえたこの基本構想、基本計画が、市の個別の計画に影響するという関係に立つと思いますので、そういう視点でご意見をいただければというふうに思っております。

それとSDGsとの関係でございます。SDGsの関係も今、取組みが進んでおりますので、この計画の中に入れるのか、この下に展開することによって、結果的にSDGsの方針、目標につながるという関係に立つかと思っておりますけれども、それもきちんと整理した形で進めていきたいと思っております。以上でございます。

○会長

まち・ひと・しごとの方にも、私に関わっていますので、ちょっと反映させていきたいなと思っています。先ほど、まち・ひと・しごとの方では、8万3,831人が目標人口ってお話しをしたんですけれども、新総合計画になれば、当然こっちも変わってきます。

他にどうでしょうか。ちょっと皆さんに質問なんですけれども、今、まち・ひと・しごとの方では8万人まで減少するところを8万3,000人まで増やしたいと、そういう意図なんです。

皆さんにお話しを伺いたいのは、人口が増えた方がいいのか、減った方がいいのかっていう、そういう問題。どうすればいいんでしょうかっていう話なんです。これ結構、難しいんですよ。人口を増やすために、あるいは維持するために頑張っていこうねなのか、減った人口の中で頑張ろうねなのかっていうことなんです。全然、感想で構いませんので、思ったご意見をお聞かせ願いたいなと思うんです。

○委員

まさに先生がおっしゃるとおりなんですけれども、これは私、いつも思っているんですが、私の意見としては決して8万3,000人の目標は必要ないと思います。むしろ、この東大和市が抱えている問題はその地域性で、南部と北部、東西南北ですね。その偏重がまちづくりの中で、人口の偏りが若干あるんじゃないかっていう。

もちろん、災害救助に関してっていう、そうした地形的なものもあると思うんですけれども、決して増えることを目標とするんじゃないなくて、量より質を求めていきたいと私は考えております。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。自由にご意見いただきたいと思っております。

○委員

要するに、仕事をしている方がなるべく多く増えた方が、市としてはすごくいいと思うんです。老人ばかり、自分も老人ですけども、そればかり増えてもよくないと思うんです。ある程度、人口のバランスが大切ではないかなと思うんですけれども。

○会長

ありがとうございます。どうぞお願いします。

○委員

11月には次の会議がありますが、この審議会の検討イメージがまだできていません。具体的に、私たちは何をやるのかっていった時に、市の方の部会とかありますよね。それとワークショップとか。またアンケートなんかの関係もあるようですけれども、それを資料に出していただくのは当然ですけども、そのことを事務局が中心となって、市の内部の関係と外との関係を整理していただいて、我々が意見を言うっていうことなんですけれども。

骨組みをまず決めるのか、具体的に出てきたものを踏まえて考えるのか。その辺の進行のこれからのやり方。どういうイメージで我々が関わっていくのか。我々は出てきたものを、これはああだこうだって言うのか、その意見を言う立場だけでいいのかどうかという、それが一つ。それをちょっとお示しいただきたいなと思うんですよね。

それともう一つは今、お話がありましたように、想定の人口が実際には少し足りてないと、牧瀬会長さんのお話の中ではありましたけれども、私は、会長さんが言われたように、まだまだ東大和っていうのは、人口の南か北っていう差があったりとか、いろんな内部のことも考えなくちゃいけないと思うんですけども、まだまだ増える可能性があるのかなと。

それで施策においても、もっと具体的に提案できるような、内容が示せるような方針みたいなものが出せればいいかなと。今まで計画が出ていても、私の周りの人に聞いてみると、それが果たしてできているのかどうかと。そういうようなことも、我々はこの中で、これから立てていけたらいいかなっていう、そういう感想を持っております。雑ぱくでちょっとまとまっていないですけども、最初ですので話をさせていただきました。

○藤本副参事

委員からいただいたご質問について、回答させていただきたいと思います。今後の検討の進め方だと思うんですけども、事務局としまして、例えばですけども、今の基本構想と事務局が考える新しい基本構想を、新旧対照表のような形で事務局として案をつくらせていただいて、お示しをすると。

それに基づいて、皆さまの方からご意見をいただくという形で、事務局の方で案をつくって、今後の議論を進めていただいた方が、議論の方も効率的というか、皆さんの方もご意見が言いやすいのかなということで考えております。以上です。

○会長

今、これから議論をしているのは何かというと、人口が増える場合と減る場合っていうのは違いますからね。中身が変わってくると。だからこんな議論をしていただくわけですね。だから人口をたくさん増やすために倍にしたいのか、あるいは今のままでいいのか。これも意見交換で変わってきますので、なので皆さんのご意見が、どっちなのかなと聞いています。それを踏まえて再度、検討していきたいなと思っているわけです。

あと、先ほど委員もおっしゃっていましたが、東大和市はまだまだ人口を増やす余地はあると思います。私の携わっている宮城県丸森町とか、そういうところは人口1万人を切っちゃっていますけれども、今も厳しいですけども、でも東大和市はポテンシャルがありますので、増やすこと自体は可能かなという感じがします。

そんなことも、ここで自由に意見交換していきたいなと思います。他にどうでしょうか。

○委員

人口のポテンシャルがあるっていうことは言われた通り、東大和市の魅力っていうのは、僕が他の市とか人々と関わる中で気付いていないというか、自分自身も言えたりできない部分があったりして、市民として認識できていないという事実があるので、そういうところをしっかりと自分自身、認識して外に言えたり、またコミュニケーションできたりする中で、魅力を伝えられていないという点では、ポテンシャルがあるというふうに認識してもいいのかなというふうに思うんですけど。

増えた方がいいとか、このままでいいっていう意見は自分自身まだなくて。知識がないからなのかもしれないですけど、なくて。気持ち的には増えてほしいという感覚なんですけど、気持ちではあります。そんな感じですね。

○会長

ありがとうございます。では他にどうでしょうか。感想でも何でも。

○委員

今お話に上がっている人口に関しては、増えてほしいなっていうのはもちろんあるんですけど、それこそ年齢のバランスっていうのもすごく大切だなと思いますし、お年寄りばかりになってしまって、子どもが全然なくて、どんどん学校が無くなってしまいうような市であってほしくはないと思います。そういったところではバランスが保たれている、お年寄りもいて、小さな子どももいるような市であってほしいなというところもあります。

東大和市、私も本当にまだ住み始めて短いんですが、いろんなところに住んでいた経験があるので、より自然も豊かですし、人とのコミュニケーションがすごく多い。都内、元23区内にずっと住んでおりましたので、人との関わりがない場所ばかりだったので、ここに来て、この市の魅力って、そういったところがすごくあるのかなっていうのは思っているんで、そういったところを生かして、ご年配の方も小さなお子さんもたくさんいる市になってほしいなとは思っています。

○会長

ありがとうございます。どうでしょう。

○委員

私も、大きく人口を増やすとなると、何か魅力的な、目立つ分かりやすい観光だとか、そういうところに大きなものを当てないといけないと思います。注目を全国的に浴びないといけないと思うので、エネルギーがたくさんいると思うので、すごく大変な計画になるんじゃないかなっていう気がします。皆さんがおっしゃるように、ちょっと漠然としている市ではあるとは思いますが、そういう点では。

だから、バランスよく維持するっていうところが、私が思うに無難なところであるのではないかなと思います。バランスというところで考えると、今いる子どもたちが20年後にはもう大人になって、私たちと同じように経済力のある生活をしていると思うんですけど、その時に住む場所としてここを選んでもらえるような市になること。

なので、生活をするという意味で、単純に住みやすいということもあると思うんですけど、それって長く居着くかどうかっていうのは別じゃないですか。気に入らなければ引っ越してしまうっていうのがあると思うので。

住みやすいついてことで、子育てをしやすい、教育の面で安心して子どもを預けられる環境

があったりとか、そういうもう少し、ただ住むだけよりも根っこの部分の整備をするっていうことが大事になってくるかなっていうことが、ちょっと見えてきた感じがあります。

○会長

ありがとうございます。

○委員

私も今、ちょっといろんな話を聞かせていただいて、私は保育園という機関なので、どうしてもこの先の子どもたちが、ここでどう過ごしていくのかっていうことが一番、気になります。

待機児童も目標3年後ぐらいにゼロというふうに書いてありますけれど、人口が増えていき、出産率が高まりどんどん上がっていくと、その目標達成というところで、そこを上げちゃうとどうなのかなということもありますし。

私的には、本当に子どもたちがどんどん増えてほしいなど。もう少し開かれたまちづくりっていう、いろんな機関が開かれた環境であったり。それはこの環境が良ければ、大人が輝いている姿っていうか、ここで過ごしたいな、ここで働きたいなっていうような、周りの大人の示し方っていうか。そういうところもちょっと考えながら聞いていました。

なので、人口は本当に増えてほしい。保育園が東村山との境目というか、そちらの方にございますが、玉川上水とか東大和市駅の方の人口とか子どもの数と、狭山の方は違うっていうことがあるので、おじいちゃんおばあちゃんがこれから、ここから出て行くっていうことではないですけど、入ってきてくれる人がどのぐらい増えてくれるのかな。東大和市に入ってきてくれる方々という地域性を考えながら、ちょっとこれからお話をまた伺いたいと思います。

○会長

ありがとうございます。是非ご意見いただきたいと思います。

○委員

皆さんからいろんな意見を伺って、全部その通りだなと思ってうなずくばかりです。私も子育てをしている者として、将来、子どもたちが帰ってきたくなるようなまちづくりだったり、今から20年後っていうとまた、どういう社会になっているかも分からない、漠然としている状態なので、人口を増やしたら増やすだけを目指にすると、土地的にも広くはないですし、産業も大きなものがないので、メインになる、人を集められるものっていうものがなかなか難しいかなとは思っています。

なので、今いる人たちがここから旅立っても、また里帰りでここに住みたいとか、すごく人が温かいまちなので、そういったところがなくならずに、人が常に入って、戻ってきくなるようなまちになったらいいなと思っておりまして。特に人口については、増やしたいという思いがなく、質が大事かなと思っております。

○会長

ありがとうございます。副会長はどうでしょうか。ご意見、もしご質問があればいただきたいと思います。

○副会長

私は学校の関係をやっていたので、特に九小、それから一小、四小あと五小なんですけど。最初の3校は市中央より北側なんですよね。旧村、旧の地域というか昔、割にこちら

のほうから人が集まっているような地域だったっていうこともあるのかもしれないですけど、保護者も、3世代が同じ学校という方が非常に多いんですね。

どういうことなのかなと伺うと、住みやすいとか、友達がまだ残っているとかの理由で、一度、別のところに行かれた方が、こっちに帰ってくることなどをされている。それから3人以上お子さんがいらっしゃる家庭が結構、多いんですね。そんなところも、特に北側の地域は多いかなという感じがします。

子育てで今、市も力を入れてるっていうところもあり、先ほど話があったみたいに、一度、出ても戻って行きたいっていうそういった魅力が、東大和市にはあるんじゃないかなと思っています。

南の方の学校は子どもも多く、あいている教室がないところもありますね。マンションの子どもたちがたくさん来ていることもあります。そういった人数の差もかなり、南と北で違うということがあるのかなと思います。

それから気になるのは、まちづくりをしていく上で一番大事なのは、活気だと思います。お年寄りが多かったり、子どもが多かったりしても、それぞれに何かやりがいがある地域であったり。そんなまちづくりっていうのが、これから大事だと思います。

○委員

これまで、市では、子育てしやすいまちということで、結構アピールされていると思うんですよ。それとあと産業についても、新しい施策を、具体的にはPRのところはまだまだだと思うんですけども、それをどんどんやっていただいています。

子どものこととか、そういう産業のこととか、まだできる部分がいっぱいあると思うんですよ。それとあと老人のことに関して、シルバーのことに関していえば、行政が実効性のあるっていったらなんですけども、いろんな団体にもっと寄り添って中に入ってきてもらって、そういうようなことをもっと出していただいてもいいのかなと。

私、今までいたところでこんなこと言うのも変な話ですけども、外に出てみるといざやられて言われても、行政がどれだけ力を入れるかっていうことによって、自信にもなるし力強いんですよ。

そういうところも今後、計画の中にそういうものが形として現れれば、周りの代表者の方もどんどん進められやすいのかなと、そういうような感じを今、持っているもので。是非、こういう計画の中で、そういうことを。いろんな部署があるでしょうけれども、いろいろ新しい課題も、施策の中でもあるかと思いますが。

さっきの資料のご説明がありましたけれども、他市の例ですけども、何を重点目標にするのかっていうことも、どういう視点で決めていくのかとか、その辺のところのイメージも、これからやる時に。

資料の7の3ページ目のところの例をいうと、どれも大事なことかなと思うんですけども、これ全部に丸を付けるわけにはいかないから。今後20年を見据えた時に何が大事なのか。まずその辺のところをどういう形で表していくのかなって。私自身、難しいなという気がするんですけどね。そんなようなイメージをちょっと感じております。以上です。

○会長

ありがとうございます。繰り返しになってしまうんですけども、大概どの基本構想も人口に関する記載があります。これを書かないって選択肢もあると思うんですけども、もし

人口を書いた場合は、東大和市は増やすのか、維持なのかということによって、中身が変わってきますので、それはしっかり考えていきたいなと思います。

そのことを踏まえ、次回の会議までに、事務局には、人口が増加する場合、現状維持の場合、人口が減少する場合のメリット・デメリットをまとめた資料を用意してもらいたいと思います。ざっくりで構いませんから。それを見てまた議論をしていきたいなと思います。他にどうでしょうか。

○委員

すみません。今の会長のお話の通り、僕もそういう資料が欲しいなと思ってはいたんですけど、私、狭山の方に住んでいまして、近くに保育園があるもので、全然、子どもが増えている気がしないというのが実感としてあるんですけど、多分、南の方と北の方でだいぶ違うんだろうなと。

狭山の辺りに住んでいまして、すごくたくさん新築の戸建てができていまして、多分、人口が増えるって、転入が増えるってということが、結構、大きな割合を占めているんじゃないかなと思うんですけど、転入が増えて戸建てが増えると、お屋敷と農地が減っていくってことになるんで、言われている環境そのものが変わっていくんじゃないかっていう感じもしてて。

先ほど事務局の方に検討していただく際、その辺の環境がどう変わってみたいなところの予測とか、それによるメリット、デメリットみたいなことも含めてご検討いただきたいなというふうに思います。

○会長

可能な範囲で構いませんので、やっていただければなあとと思います。それでは大体、時間ですので、今日は顔合わせと説明がメインでしたので、次回以降、審議をしていきたいと思います。

(9) その他

○会長

次第の9、その他に入っていきます。連絡等あれば、事務局からお願いします。

(次回の会議日程等について事務局が説明)

○会長

ありがとうございました。全体を通じて、皆さんから何かありますか。

○委員

たとえば、市長が変わった場合に、基本構想の策定に当たって、市長の考え方というのは考慮しないのか。市長の公約が基本構想の中に入っていなかったら、市長の考え方はどうなるのか。基本構想が市政にもたらす影響を知りたいと思います。

○藤本副参事

資料6でご説明したとおり、総合計画の策定に当たっては、市民の皆様の参加と庁内の検討組織があります。庁内検討組織の総合計画策定本部会議は、市長が本部長ですので、総合計画の策定に当たっては、市長の考えは計画の中に反映していきます。今後のことについては、現段階でははっきり申し上げられない状況です。

○委員

現在の市長の考え方を反映するのはわかるんですが、市長が変わったときにどうかということですが。

○藤本副参事

市長が変わった場合には、その考え方に合わせて計画を改定することもあり得ると思います。

(10) 閉会

○会長

それでは、本日の案件はこれですべて終了しました。これをもちまして、第1回東大和市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

—以 上—